



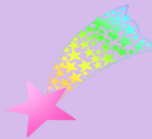
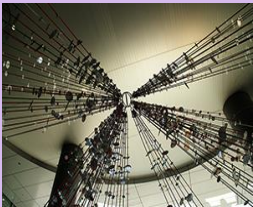
SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/24号 2020/3/24

未来社会を生き抜く君たちへ

本校の課題探究の最大の売りは、自分たちで問題を発見し、科学的・多面的に考え、試行錯誤を繰り返しながら、主体的に問題解決に取り組むところにあります。そのような探究の過程を通じ、「20年後、30年後の未来社会を造りゆく力の基礎を育成すること」これが、課題探究のねらいなのです。これからの社会は「予測不能な社会」だと言われています。そのような未来社会では、今までの勉強に加えて、課題探究で身に着けた力が必ず役に立つはずです。さあ、新年度に向けて今から準備を始めましょう！！



◆3年生での課題探究について

(1) 数理探究科・普通科

7月19日が最終発表会です(予定)。3月～春休みにかけての活動がすべてストップしてしまいましたが、そのなかでベストを尽くすことが大切です。学校がないことを逆手に取って、課題探究の構想を練るのも1つの方法ですね。班員とも連絡を取り合って、協力してアイデアを出してみましょう。

【やっておくこと】

- ・再開後の具体的計画
- ・必要なものの準備
- ・3日に1回は班員で話し合う(ネットで)
- ・先行研究の調査、アイデアを参考に

(2) 家政科

家庭科「課題研究」をより充実させるために、必要に応じて外部講師を招聘したりしながら実施していきます。テーマについて、インターネットや家庭科の教科書、新聞記事などを参考に候補をできるだけ挙げておきましょう。1月に山口大学の先生をお呼びして実施した「課題発見セミナー」を思い出すといいかもしれませんね。

「発見は、知識より意識」でしたよね。

◆2年生での課題探究について

(1) 数理探究科・普通科

数理探究科・理系・文系に分かれて、毎週2時間の課題探究に取り組みます。3学期に発表会をします。新年度の課題探究をスムーズに進めるためにまずは、問題発見・テーマ設定です。1年次のミニ課題探究の続きでも構いませんし、ゼロからテーマを探しても構いません。念頭において欲しいのは、調べ学習でないということです。つまり、調べたら答えが載っているものではなく、誰もやったことがないものを自分たちで実験や調査をして探究していくことができるものをテーマにしてください。マイコンやインターネットを使った海水面の変動について、他校と共同で研究することになりました。数理探究科から1班、理系・文系から合わせて1、2班程度希望者を募ります。興味がある人は、「Arduino 使用例」をキーワードにネットで検索してみてください。さらに、文系からは、長崎ウエスレヤン大学等との共同企画「インフラさるく」に参加する人を35名程度募集します。インフラさるくの令和元年度の内容は本校のHPに掲載していますので、興味のある人は見ておいてください。

【やっておいて欲しいこと】

- ・テーマになりそうなものを書き出す(質より量)
図説や資料集の内容を参考にするのもいいかも
新聞等から「問題」「課題」の文字をかったっばしから見つけるのもいいかも
自分たちでデータを取って、分析できそうなことはないかな？
- ・大村湾をテーマに何かないかな？
大村湾で何かできないかな？ 大村湾に関する先行研究にはどんなものがあるかな？
- ・パソコンを使って何かやりたい人は次のキーワードを検索してみるといいかも
「Kinovea」・・・動作解析ソフト
「Raspberry Pi」・・・IoT開発によく用いられるカードサイズのコンピュータ
「Python」・・・プログラミング言語
「RESAS」・・・総務相のビッグデータ
「Tellus」・・・衛星画像データ提供システム

(2) 家政科

科学リテラシーを高めたり、3年での家庭科「課題研究」をより充実させるために外部講師を招いてのセミナーを定期的実施します。まずは、放射線とその影響について調べておくといいかも知れませんね。